

情報システム学会秋講演会 2022 開催報告

開催日時	2022年9月10日(土) 14:00~16:30	
会場	リアル	専修大学 神田キャンパス 10号館 8階 10081教室
	オンライン	ZOOM
参加人数	合計37名	
講師	村岡 元司 氏 株式会社NTTデータ経営研究所 執行役員 パートナー 一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク代表理事	
テーマ	エネルギー起点の地域づくり	

過日に開催された当学会の秋講演会は、リアル会場の様子をオンライン会場にも配信するハイブリット形式での開催となりました。多数の方にご参加いただき、質問やディスカッションも盛大で実りある研究会となりました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

【概要】

今後の地域新電力の展望について、スマートコミュニティ構想策定やエネルギーを起点としたまちづくり等を専門とし数々の寄稿・講演を行われてきた村岡元司氏による講演および参加者を交えたディスカッションが行われた。

講演では、ドイツにてガス・電力・上下水道・再生可能エネルギー・バスの運営等のインフラサービスを提供するシュタットベルケの事例が紹介された。現在ドイツ国内には約1400のシュタットベルケが存在する。自治体の出資を受けながらも、民間企業レベルの効率化された経営と高い市場競争力を維持しながら地域密着型かつ公益性の高いサービスを展開している。複数のエネルギーやサービスを取り扱うため、電気事業の黒字で他の赤字部門を補填するようなことも可能であり、持続可能なビジネスモデルを実現している。

一方、日本国内における地域新電力は主に電力小売部門を専門に扱うため、卸電力市場の価格高騰の影響を受けやすい。実際に深刻な経営危機を迎えている事業者も多く見られる。

地産地消型のエネルギー事業は地域の脱炭素化と地域経済の活性化を両立させる理想的な循環モデルである。各事業者がどのようにして一定の収益を確保しながら地域に合わせたエネルギー供給と独自のサービスを包括的に提供できる存在になれるかが今後の課題である。

【会場の様子】



会場参加者



講師の村岡元司 氏

以上